

第36回 建築生産シンポジウム発表論文／報告の募集

建設業における働き方改革の推進や、ICTを活用した建設現場の安全確保・生産性向上の取り組みなど、建築生産を取り巻く環境が変化を続けています。

本シンポジウムは、建築生産分野の技術向上、研究・開発ならびに教育の発展を図るとともに、関係者に技術や研究に関する交流の場を提供することを目的としています。

建築生産にかかわる様々なテーマで、広範囲の領域から最先端の現状分析や将来展望などに関する成果を募集します。募集においては「論文」と「報告」のカテゴリーを設けており、「報告」カテゴリーでは、建築の施工事例なども取り上げます。

なお、委員を中心とした評価者により、若手研究者の優れた発表に対する評価を行います。この対象は、2021年4月1日時点で30歳未満の方と致します。

より多くの研究者や実務者にご参加頂き、活発な議論や意見交換がなされることを期待しています。

【第36回建築生産シンポジウム発表論文／報告の募集における注意点】

- 1) 東京2020オリンピック・パラリンピック開催期間を考慮し、開催日を例年の7月末から、8月19日(木)・20日(金)へと変更しています。開催日当日の不参加とならないよう確認をお願いします。
- 2) 新型コロナウイルス感染拡大防止への観点から必要に応じてオンライン発表/視聴の環境整備を計画します。オンライン発表を前提とした遠方からのご投稿もお待ちしております。
- 3) 論文／報告応募の2段階制における提出日程は、例年同様の3月梗概・6月本論文から変更ありません。ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止への観点から、従来の紙原稿による投稿を廃止し、PDFファイルをWEBベースで投稿する形式を試行します。投稿方法の欄を熟読願います。
- 4) 論文集としての可読性向上を期し、本論文／報告における体裁確認の厳格化をいたします。梗概審査による採用後、本論文／報告の執筆の際には執筆要領に従うとともに、特に下記の体裁不備のないよう注意願います。
 - (ア) 読者が文字を判別できない図・表の使用(ただし、図・表に記載された文字が、当該図・表が示す意味上で価値を持たない場合を除く)
 - (イ) グレースケール印刷した際に読者が判別できない写真等の使用
 - (ウ) 不自然・不必要に大きなサイズの図表あるいは空白の使用
 - (エ) フォントのサイズ・種類の執筆要領からの著しい逸脱

主催：建築社会システム委員会

期日：論文／報告発表：2021年8月19日(木)・8月20日(金)

主会場：建築会館ホール(東京・田町)＋オンライン発表/視聴

※新型コロナウイルス感染拡大状況に応じて、対面開催の有無を判断いたします。

発表分野：1)～16)

1) 建築生産一般：生産史、技術論、産業論、国際比較等

- 2) 産業構造・建築生産組織・職能をめぐる諸問題
- 3) 雇用・労働・人材育成・教育・資格
- 4) PM, CM, リスク・マネジメント等
- 5) 環境・資源問題：SDGs, ISO・EMS, リサイクル等
- 6) 発注方式：入札／契約制度
- 7) 建築企画・発注者／ユーザーニーズ
- 8) 設計・監理：DR, 生産設計, コンストラクタビリティ、総合図等
- 9) 積算・コスト：工事原価, コスト管理, VE等
- 10) 工事計画・生産性：施工法, 構工法選択等
- 11) 工程・労務・資材・安全・品質に関する管理技術
- 12) 維持管理・FM
- 13) 情報・通信技術の利用：DX, ICT, AI, IoT, BIM, 3D スキャン等
- 14) オフサイトコンストラクション, 工業化工法, 機械化・自動化施工, 3Dシミュレーション
- 15) 事例：プロジェクト, PFI, 新事業, 再生・解体, 組織変革等
- 16) その他 本シンポジウムに適合したテーマ

●論文／報告応募要領：

論文／報告は、梗概による登録（梗概の提出）と本論文／報告提出の2段階制とし、次の日程および要領による。

A. 登録（梗概の提出）：締切日 2021年3月1日（月）

1) A4判用紙2枚以内（様式自由）に下記の項目を記載しひとつの pdf ファイルとして提出すること。

- ① 論文か報告かの別
- ② 論文／報告題目
- ③ 著者および所属（連名の場合は発表者に○印を付すること。発表者は本会個人正会員であること）
- ④ 発表者が若手研究者に該当するか（2021年4月1日時点で30歳未満を条件とする。なお、この欄に記載のない者は審査対象から除くものとする。）
- ⑤ 連絡先：氏名・Eメールアドレス（必ず記載してください）
- ⑥ 論文／報告の希望ページ数（論文は6、8ページのいずれか、報告は4、6、8ページのいずれか）
- ⑦ 上記1)～16)の発表分野番号
- ⑧ 論文／報告梗概（邦文1,000字程度）

なお、論文／報告は同年度での（その1）、（その2）のような連番は避け単独に成立した内容とする。発表は一人一編とする。

論文および報告は以下の内容とする。

論文：独創性のあるもの。発展性の期待できるもの。新しい知見を与える有用性、実用性に富んだもの。信頼性が高く、学術的、技術的に価値のあるもの。

報告：建築物あるいはプロジェクトの企画・計画・設計・施工・運用に関する事例の報告や技術開発成果の報告。調査・開発による事実・資料の報告。設計法・施工法の体系化に関する技術の報告等、技術的価値や先見性のあるもの。

※報告カテゴリーでは、個人や企業所属の実務者の方々からも幅広く活動成果の発表を募集しております。

2) 下記リンクのWEBフォームにより提出すること。

<https://forms.gle/UxZENGIJohkEVnrZA>

※上記WEBフォームが利用できない投稿者に限り、下記ルールに則りメール送付すること。

送付先：seisan@aij.or.jp

件名：第36回建築生産シンポジウム梗概登録

記載事項：メール本文に前述の①～⑦の各項目を記載し、梗概pdfを添付資料とすること

3) 論文／報告の採否は、内容・件数およびプログラム編成などを勘案して、本会建築社会システム委員会建築生産小委員会が選出する委員が査読し、登録申請者宛に採否の結果を通知する（4月中旬予定）。特別な理由のない限り、発表の辞退、交代は許可しない。梗概の審査において「条件付採用」となった場合、本論文／報告にて再度審査を行う。付帯条件に沿っていない場合や、梗概段階において「採用」でも本論文／報告に著しく不備などがある場合は不採用となる場合があるので注意すること。

B. 本論文／報告提出：締切日 6月7日（月）

1) 本論文／報告用紙は、白地のA4判とする。枚数は論文の場合6，8ページのいずれか、報告の場合4，6，8ページのいずれかとする。

2) 本論文／報告は、採用通知とともに提示する執筆要領に従い執筆すること。

C. 著作権

1) 著者は、掲載された論文・報告の著作権の使用を本会に委託する。ただし、本会は、第三者から文献等の複製・引用・転載に関する許諾の要請がある場合は、原著者に連絡し許諾の確認を行う。

2) 著者が、自分の論文／報告を自らの用途のために使用することについての制限はない。なお、掲載された論文／報告をそのまま他の著作物に転載する場合は、出版権に関わるので本会に申し出ること。

3) 編集出版権は、本会に帰属する。論文集の刊行－「第36回建築生産シンポジウム論文集」を編集のうえ刊行する（有料にて頒布）。また、電子化による公表を視野に入れた募集であり、その公表の権利も本会に帰すものである。

●問合せ：

日本建築学会 事務局 事業グループ 大久保・一ノ瀬

E-MAIL seisan@aij.or.jp TEL 03-3456-2057 FAX 03-3456-2058

